

『災害メモリアルKobeの
授業をうけて』

一年一組四番石川京平

ぼくは、今日、「災害メモリアルKobe」を受けて、思ったことは、「地震」、「津波」は非常におそろしいものだと思いました。だって、学校の約五百程度生徒や先生がいたにもかかわらず学校全体の約1/3が亡くなったか、行方不明になっっているかどちらかだったのてびっくりました。

今日、見たビデオの中で津波に合ったのにもかかわらず生き残っていて、たいていその国の人には泳ぐことが出来ないから、津波に巻き込まれた人は、海の上に浮いてさくなっているか、その反対の沈んでさくなっているかでした。でも、ビデオの中で見た人も泳げなかったけど、午前8時30分に津波に巻き込まれて、最終的に陸地についたのが午後15時30分になっっていて、なんと7時間も海の上に浮んでいたことになりました。ぼくが津波にあっただとしたら、たぶん5分も浮けるかどうか分からないぐらいです。そのテレビに出ている人は、すごく根性がある人だなと

思いました。

ぼくが今の家で地震や津波の対策をしてい
るのは、地震がきても水の確保はしている
ということですよ。実は、津波の対策は、ま
ったくと言っていいほどしていません。た
かから家に戻ったと、さ、そく津波の対策を
したいです。